

① 地区の概要とこれまでの経緯

本地区は、岩手県中央部に位置し、北上川支流である雫石川の右岸部に展開する盛岡市、紫波郡矢巾町及び紫波町に広がる4,400haの水田地帯です。

水源を雫石川とし、鹿妻穴堰頭首工によって取水され、鹿妻本堰用水路及び幹線用水路を流下しながら各支線用水路に分水され、各圃場にかんがいされています。

これらの基幹的農業水利施設は、国営雫石川沿岸農業水利事業（昭和34年から昭和48年）、国営盛岡南部農業水利事業（平成元年から平成13年）により造成され、地域の農業用水の安定供給に重要な役割を果たしてきました。

本地域では、水稻を中心に、小麦、大豆、ねぎ、トマト、きゅうり、りんご等が栽培されています。米は主食用のほか、もち、日本酒の原料に使用され、また野菜、果樹は盛岡等の近郊、関東方面にも出荷されているほか、一部は海外への輸出を行うなど先進的な取組も行われています。



② 事業計画の概要・目的

本地区の基幹的農業水利施設は、造成後20年から45年経過し、開水路等のコンクリートに、ひび割れや摩耗が進行し、農業用水の流下性能が低下しているとともに、機場ポンプや各ゲートでは老朽化に伴う動作不良、また水管理施設においては水位等データ送受信の不具合など不測の事態が発生しているなど、農業用水の安定供給に支障をきたしているとともに、施設の維持管理に多大な費用と労力がかかるようになっていきます。

また、鹿妻穴堰頭首工及び西部用水路の一部区間は、大規模地震に備え、現行基準に適合する耐震対策を必要としています。

このため、鹿妻穴堰頭首工、西部揚水機場及び用水路等の基幹的農業水利施設の機能を保全するための整備と耐震化のための整備を一体的に行うことにより、農業用水の安定供給と維持管理の軽減を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定に資することを目的としています。

1) 関係市町	岩手県盛岡市、紫波郡矢巾町、紫波町	
2) 受益面積	4,400ha（水田：4,166ha、畑：234ha）	
3) 予定工期	平成30年度～令和12年度（13年間）	
4) 総事業費	40億円（平成28年度単価）	
5) 主要工事		
施設	数量	内容
鹿妻穴堰頭首工	一式	改修：取水口、取水堰、付帯施設、管理施設 耐震化：堰柱
西部揚水機場	一式	改修：ポンプ設備、付帯施設、建屋 耐震化：吐水槽
幹線用水路	4.2km	改修：鹿妻本堰0.5km、鹿妻本堰用水路0.8km、 幹線用水路0.1km、西部用水路2.8km 耐震化：西部用水路の一部区間
水管理施設	一式	改修：水管理施設、建屋